

# 鈴鹿市消防団

## 地域のHERO

火災や災害が発生したとき、地域を守りたい、その気持ちで昼夜を問わず自宅や職場から現場に駆け付ける消防団。

人を救い、地域を守るために、日夜尽力している「HERO」たちが私たちのまちにいることを忘れてはいけない。

そんな私たちのまちを災害から守ってくれる消防団の活動をご紹介します。

林野火災対応訓練



消防出初式



防災訓練



出前授業



鈴鹿市消防団

いしだ ひさお

石田 久雄 団長

## 消防団の使命 -Mission-

### 【各種災害対応】

火災発生時の消火活動を始め、大規模災害発生時(地震、風水害など)は、救出救助、避難誘導、警戒巡視などの災害対応を行う。地元のことを誰よりも知っている消防団員だからこそ、即時に対応できる。

### 【防災訓練指導・啓発】

自治会や事業所からの依頼で、消火器の使用方法や通報訓練、煙からの避難訓練などを行っている。

### 【火災予防広報】

年末年始や火災予防運動時には、地域パトロールを実施し、火災が発生しやすい時期にパトロールを行うことで、地域の安全・安心につなげている。

### 【応急手当指導】

地域や事業所などを対象に、救急車が到着するまでの間に命を救う応急手当やAEDの使い方など救急の知識と技術を指導している。



玉垣分団

もり やま まさ み

森山 正美 副分団長



鈴鹿市長

末松 則子

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年、異常気象による災害が激甚化・頻発化し、日本各地で甚大な被害が発生しています。そのようなときの災害対応に率先して取り組んでいただくのが消防団です。市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのためには消防団が必要不可欠であり、消防団員の皆様には昼夜を問わず御尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

今後も、地域防災力の向上のため、より一層の訓練や広報活動など、消防団活動に励んでいただきますようお願い申し上げます。

## 基本団員

～地域を守る誇り高き者たち～

基本団員は、消防団の「核」となる団員。「家が燃えている」「台風による倒木で道路が通れない」「地震だ!津波が来るぞ」「家族が行方不明になった」など、どんな災害でも勇気を持って駆けつけてくれる。

災害時はもちろんのこと、平常時も防災訓練や出前授業など、地域の防災意識の向上に貢献している。

# 学生団員

-有事の活動にとどまらない幅広い活動-

学生団員は令和6年4月に発足し、今年2年目を迎えた。

普段は学生として学業に専念しながら、さまざまなイベントで応急手当の普及や防火防災の啓発活動を行っている。高齢者には自分のおじいちゃんやおばあちゃんと接するように、こどもたちにはお兄ちゃんお姉ちゃんのような優しい眼差しで接している。

学生ならではの探求心、発想力、行動力を存分に発揮し、地域の安心を守ることに貢献している。将来は地域防災の担い手としての活躍が期待される。



## Q:消防団に入ろうと思ったきっかけは?

**河野** 将来、消防士として働きたいと考えていたため、消防と関わる機会が欲しいと思っていました。また、自分の活動の幅も広がり、社会貢献にもつながること、さらに学生だけの消防団ということもあり入りやすいと感じたためです。

**松尾** 大学生になったらボランティア活動をたくさんしたいと考えていました。特に消防に関わるボランティア活動をしたいと考えていました。学生消防団が発足すると聞き、「私がやりたい活動はこれだ!」と思い、入団を決断しました。



## Q:消防団活動の“やりがい”を教えてください。

**河野** 地域の方たちとの関わりが増えたこと、イベントでこどもたちに防火・防災について興味を持ってもらうこと、応急手当普及員という資格を生かして救命活動を広めていくこと、団員同士のつながるが深まるのがやりがいだと感じています。

**松尾** 私は、地域の方々に消防団の活動をもっと知ってもらうことをやりがいに活動しています。

応急手当普及員の資格を取得して実際に教えたり、イベントの参加やPR動画にも参加したりして、消防団の魅力を少しでも伝えられたらと思っています。



鈴鹿医療科学大学  
救急救命学科

かわの すずか  
河野 紗花さん



鈴鹿医療科学大学  
救急救命学科

まつお みずき  
松尾 瑞希さん

# 大規模災害対応団員

-バイクの「機動性」「迅速性」を活かして-

南海トラフ地震などの大規模災害が発生した際、道路が寸断されるかもしれない。実際に令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、主要道路が寸断され、救助活動や支援物資の輸送に支障をきたした。

そのときに力を発揮するのが大規模災害対応団員である。団員は日本のトップライダーとして活躍しながら、消防団員としても日々訓練に余念がない。

大規模災害時は、バイクという「機動性」「迅速性」を生かし、大型車両が通行できない場所でも、進入し、情報収集や物資搬送を行う。そんな頼もしい仲間が鈴鹿市消防団に所属している。

大規模災害対応団員

おがわ とも ゆき  
小川 友幸さん



# Hiまわり団員

-女性団員だからこそできる活動を-

Hiまわり団員は、企業や自治会などで応急手当の指導や防災人形劇などで防災啓発活動を行っている。女性が地域防災活動に参加することで、災害時に女性の視点を取り入れた避難所運営や防災への備えなどができる。

あたたかい眼差しで地域を見守る彼女たちのおかげで私たちは今日も安心して生活することができる。



Hiまわり団員

さとう まどか  
佐藤 円香さん

## 令和8年度 消防出初式

日時:1月11日(日) 10時~11時30分

場所:鈴鹿サーキット レーシングコース

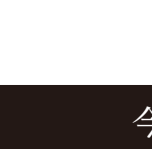
申込:出初式ウェブサイトの専用フォームから

※入園無料

※GPスクエアに消防団ブースを設置します。

※インスタフォローで消防ベルディハンカチプレゼント!

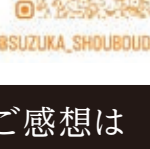
出初式  
ウェブサイト



消防ベルディ  
ハンカチ



消防団PR動画  
令和7年11月に制作



公式Instagram



今回の特集に関するご意見・ご感想は  
中央消防署 ☎382-9133 ☎382-3905  
✉ chuoshobosho@city.suzuka.lg.jp